

連絡先：海上保安庁総務部
国際・危機管理官付
課長補佐 山本
電話：3591-9802(直通)
3591-6361 内線3303

平成22年7月30日

海上保安庁長官の訪露について

1 経緯

海上保安庁は2000年9月にロシア連邦国境警備庁（現在は連邦保安庁国境警備局）との間で締結した「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」に基づき、これまで累次にわたり長官級会合や合同訓練等を実施しています。

長官級会合は、この「覚書」に基づき定期的を開催しているもので、前回会合は、2008年11月東京において実施されています。

2 日程

7月26日(月)：ロシア(モスクワ)着 ロシア側との打合せ

7月27日(火)：日露海上警備機関長官級会合

7月28日(水)：サンクト・ペテルブルグに移動

7月29日(木)～30日(金)：サンクトペテルブルグ・レニングラード州国境警備局等視察

3 結果概要

平成22年7月27日(火)、海上保安庁鈴木久泰長官とロシア連邦保安庁国境警備局 V. Y. プロニチェフ長官は、モスクワにおいて会談し、両機関間の協力の現状、今後の協力の方向性について協議しました。

今年は両機関の協力に関する覚書が作成されてから10年目にあたり、両長官は、これまでに実施した長官級会合、情報交換、合同訓練、職員の人的交流による両機関の連携・協力関係の発展の現状について認識を共有するとともに、薬物の密輸、イラン人等の密航、水産物の密輸等の分野において、活発な連携・協力を行っていくことを改めて確認しました。

モスクワにおいて、プロニチェフ長官をはじめとする国境警備局本庁幹部と会談した後、ロシアの極東以外の地域における海上警備の現場の状況等を直に把握するため、7月29日(木)から30日(金)にかけて、フィンランド湾の海上警備を担当している「サンクトペテル

ブルグ・レニングラード州国境警備局」(サンクト・ペテルブルグ)を訪問しました。

同局では、サンクトペテルブルグ・レニングラード州国境警備局のコジク局長から、これらの海域における海上警備の現状と課題、バルト海沿岸諸国の海上警備機関による協力の現状等について説明を受けました。その後、実際に同局の警備艇に乗船し、フィンランド湾における最前線の警備状況を洋上から視察しました。

また、サンクト・ペテルブルグ所在の「アルマーズ」造船所等を訪問し、ロシア国境警備局が精力的に進めている艦艇の更新・高機能化の状況について視察しました。

※長官級会合の写真が必要な方は、総務部国際・危機管理官までお問い合わせ下さい。

(03-3591-9802)